

排ガス浄化補助触媒開発

榛葉鉄工所 活性化時間40%短縮

【浜松】榛葉鉄工所（静岡県掛川市、榛葉博社長、0537・27・2100）は、ステンレスの拡散接合（焼結）を手がけるニチダイフィルタ（京都府宇治田原町）と共同で、メインの排ガス浄化用触媒の活性化にかかる時間を従来よりも約40%短くする補助触媒装置「MM触媒」を開発した。2輪車、汎用エンジン向けを想定し、今秋までの受注を目指す。

ニチダイフィルタと共同

MM触媒は、ステンで製造する。触媒でステンレス金属を焼結した構造的なハニカム構造と造体に貴金属を担持し、比べ反応空間が複雑化



し、排ガスの接触効率ムへの後付けも容易。が向上する。また小型で薄いため加工やレイアウトの自由度が高く、2輪車に多い曲がりくねった排気システ

ムへの後付けも容易。触媒は一般的にエンジン始動時の「コールドスタート」と呼ばれる時間が短いほど高効率に排ガスを浄化するとされる。MM触媒をエンジン排気口近くに設置することで、メインの

ニチダイフィルタと共同で開発した補助触媒装置「MM触媒」

触媒の活性化に先駆け技術部理事は「（実用で排ガスの浄化を開始する）実機を使つたテストを重ねて、さらに技術を磨く」としている。

榛葉鉄工所の石沢登